



豊似地区文化・音楽祭 (11月2日 農村環境改善センター)

ひろお 議会だより

No 216

2025年12月1日発行



町ウェブサイト
「広尾町議会」
QRコード

【令和7年第3回定例会】

令和6年度決算審査「1年間の成果は？」

2

ズバリ問う！一般質問（3人が登壇）

暑熱対策／エアコン助成／農業振興計画 ほか

10

常任委員会で調査研究

健康プラン21・大丸山展望台設置事業 ほか

14

どう使われたか



令和7年
第3回
定例会

一般会計の収入（歳入）合計77億6784万円

自主財源	町税	8億9843万円 (11.6%)
	分担金・負担金	1億8909万円 (2.4%)
	使用料・手数料	1億8159万円 (2.3%)
	その他収入（ふるさと納税等）	9億8661万円 (12.7%)
依存財源	地方交付税	38億7839万円 (49.9%)
	国庫支出金（国からもらうお金）	4億7652万円 (6.1%)
	道支出金（北海道からもらうお金）	2億8459万円 (3.7%)
	地方譲与税・交付金等	4億1264万円 (5.3%)
	町債（借金）	4億5994万円 (5.9%)

※1万円未満切り捨て

令和6年度各会計収支（歳入・歳出）一覧

※1万円未満切り捨て

会計名	収入（歳入）	支出（歳出）
一般会計	77億6784万円	76億3972万円
港湾管理特別会計	1億1574万円	1億1436万円
国民健康保険事業勘定特別会計	8億5618万円	8億4211万円
介護保険特別会計	6億8070万円	6億5270万円
介護サービス事業特別会計	10億343万円	10億201万円
後期高齢者医療特別会計	1億3231万円	1億3231万円
病院事業債管理特別会計	4595万円	4595万円
水道事業会計	収益的収支※1	3億3820万円
	資本的収支※2	1428万円
下水道事業会計	収益的収支	3億9564万円
	資本的収支	1億4658万円

※1 収益的収支～事業活動に伴い、発生が予定されるすべての収入と支出

※2 資本的収支～将来に備えて行う建設改良や、建設改良に要した借金の返済金などの収入と支出

※3 収支の不足分は、留保資金などで補てん

令和7年第3回定例会は、9月3日（水）から11日（木）までの9日間の会期で開かれ、令和6年度決算認定（一般会計ほか8会計）のほか、条例の一部改正や令和7年度補正予算などが提案され、本会議・委員会での審議の結果、全議案を原案のとおり可決しました。

町民1人あたりに使われたお金

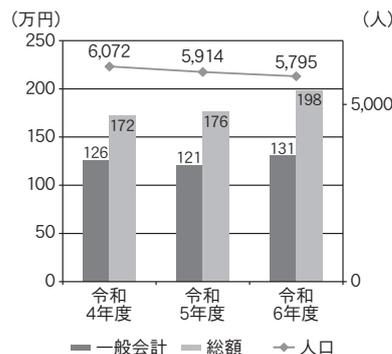
（一般会計）

約131万円

※特別会計を含めると

約198万円

（注）3月末現在の住民基本台帳
人口5795人で計算したもの



貯金（基金）残高の推移

令和2年度	30億8267万円
令和3年度	33億4950万円
令和4年度	33億6996万円
令和5年度	34億4606万円
令和6年度	33億3907万円

借金（町債）残高の推移（全会計）

令和2年度	139億5462万円
令和3年度	132億5290万円
令和4年度	122億5470万円
令和5年度	113億7084万円
令和6年度	111億5231万円

数字で見た広尾町の財政指数状況

項目	R5	R6
財政力指数 高いほど、毎年必要なお金を自力で調達できる。	0.225	0.228 ▲
経常収支比率 高いほど、自由に使えるお金が少なくなる。 町村では75%以下が適正とされている。	82.9%	89.7% ▲
実質公債費比率 高いほど、収入の多くを借金の返済に使うことになる。 25%を超えると借金を制限される。	13.6%	12.7% ▼
将来負担比率 高いほど、将来の財政が圧迫される可能性が大きい。	21.5%	19.2% ▼

令和6年度決算概要

まちのお金は

一般会計の支出（歳出）合計76億3972万円

議会費	7988万円 (1.0%)
総務費	7億2389万円 (9.5%)
民生費	17億9641万円 (23.5%)
衛生費	8億4408万円 (11.0%)
農林水産業費	4億5774万円 (6.0%)
商工費	4億3767万円 (5.7%)
土木費	9億7561万円 (12.8%)
消防費	3億7068万円 (4.9%)
教育費	7億6104万円 (10.0%)
公債費（借金返済）	11億9267万円 (15.6%)

一般会計ほか8会計の令和6年度決算認定について、決算審査特別委員会（志村國昭委員長）を設置し、9月9日、10日の2日間審査した結果、すべての会計を「認定すべきもの」と決定しました。その後、9月11日の本会議で討論・採決、全会計の決算が認定されました。

※一般会計、国保事業勘定特別会計は起立による採決を行いました。（賛否の内訳はP9）

〔一般会計決算の概要〕

収入（歳入）合計額は77億6784万円（前年度比4・6%増）、支出（歳出）合計額は76億3972万円（前年度比6・1%増）となりました。

収 入の49・9%を占める地方交付税は38億7839万円となりました。（前年度比3418万円の増）

町 税収入は前年度比8・8%減の8億9843万円となりました。徴収率は96・6%（前年度96・5%）で、3116万円が未納となっています。

貯 金（基金）残高は合計で前年度比3・1%減の33億3907万円となりました。

借 金（町債）残高は合計で前年度比1・9%減の111億5231万円となりました。

次のページは「決算審査特別委員会」

一年間の成果は？

決算審査 特別委員会

9/3,9,10

委員長 志村 國昭
副委員長 斎藤 弘樹

決算審査特別委員会を設置し、令和6年度の各会計の決算について、慎重に審査しました。

※質疑内容を抜粋、要約してお知らせします。

結婚新生活支援

町独自で所得や年齢等の制限を緩和する考え

は。

財源が限られているため、国の基準範囲内での運用にとどめる。

答

避難訓練

厳冬の避難訓練が行われなかった理由は、

隔年で夏と冬の訓練を実施している。昨年度

は夏の訓練を予定していたが、悪天候のため中止となった。

問

答

自力で避難できない人の支援体制づくりは、

個別避難計画策定に向けた体制や方針づくりの取組を始め、令和6年度は8件の計画を策定した。

問

答

まちづくり会議

まちづくり町民みらい会議が開催されなかった理由は、

問

まちづくりを推進するための現実的なテーマがないため実施しなかった。

答

滞納整理機構

十勝市町村税滞納整理機構の総体的な見直し

は。

管内の課長会議で意見を取りまとめている。

答

滞納者に対する抑止力や徴収困難案件の解消が見込めることなどから継続する結論となった。

問

答

地域分担制

制度が形骸化されているのでは。

問

答

他町村の取組も踏まえ、町内会活動が活発になるよう内部で検討している。

電動生ごみ処理機

電動生ごみ処理機の購入補助事業は、新中間処理施設の運営負担金の削減にもつながるので積極的にPRすべきでは。

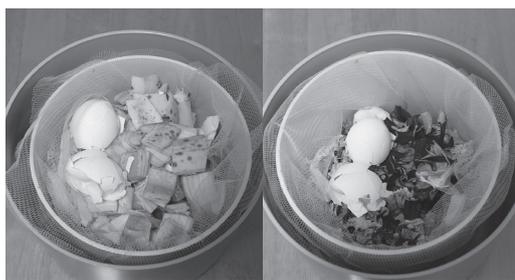
問

答

町内会の会合などでのPRや購入者のアンケート結果を町広報紙に掲載した。アンケート結果は町ホームページにも掲載する

答

ムページにも掲載する



処理前

処理後

緊急通報装置

設置世帯数が大幅に減少している要因は、

問

答

新規の申込より転居や施設入所などによる撤去が増えているため。

問

申し込む際に、以前は緊急協力員を2名推薦する形となっていたが、現状は。

モバイル型の場合、家族や知人がいなくても申請は受け付けており、今後もそのように継続する。

答

解放保育

令和5年度に比べ令和6年度の利用状況が半減している要因は、

問

答

令和5年度はコロナが第5類に変わったことで利用者が極端に増加したもので、昨年度は子どもの減少もあり、例年どおりの数となった。

臭気測定調査

どのような形で調査に出したのか。

問

答

悪臭防止法に基づく特定悪臭物質22項目と臭気指数の調査を委託した。

問

答

正規の臭気判定士による調査が。また、結果は。十勝管内で唯一臭気測定ができる業者に委託した。結果は全て基準値以下であった。

恋人の聖地

問 恋人の聖地プロジェクトに参加して何かイベントを行っているのか。

答 イベントの参加は別の費用が掛かるため行っていない。プロジェクトのホームページに掲載されることで全国の恋人の聖地巡りをする一助となり、充分PRできていると考える。

サンタカード

問 サンタランド認定40周年記念事業が行なわれた年度に申込件数が減少した要因は。

答 申込者は増加傾向にあったが通数が減少した。申込金を500円から750円に値上げしたことが大きな要因と考える。

応援リーダー

問 広尾町応援リーダーの具体的な活動内容は。

答 観光資源や特産品など魅力ある情報を広く国内外に紹介し、町の知名度に関することや観光に関する助言、情報提供等を行っている。

消費者行政推進

問 消費者保護に関する相談体制やリーフレットの配布は。

答 気軽な相談には商工観光係で対応している。リーフレットは、社会に出る前の普及活動を含め、高校3年生に配付している。

答

コールセンター業務、メールの初期対応、納税証明書の発行等を委託している。

海外派遣事業

問 中学生の海外派遣事業の効果的な内容は。

答 令和5年度から英語のシंगाポールの語学学校へ派遣している。生徒の英語能力に応じたクラス分けがされ、個々のレベルに合わせた授業が受けられており、語学力の向上につながっている。

給食費無償化

問 給食費無償化による保護者への案内や週及分の返還状況は。

答 保護者には各学校を通じて給食費無償化のお知らせの文書を配布した。週及分については、準備が整い次第、各家庭に通知書を発送し、振り込みを行った。

スケートリンク

問 スケートリンクの造成に関する判断は。

答 学校の授業等でも使用されるため、現段階では今後も造成していきたい。



今年度の造成は？（写真は令和5年度）

保険料未収額

問 後期高齢者医療保険料の未収額が4年連続で増額しているが、未納者への対応状況は。

答 税と併せて毎年定期的な本人に直接交渉し、分納誓約等を結んでいる。

問 寄附者電話対応業務の内容は。

ふるさと納税

ふるさと納税

問 高齢者へのリーフレットの配布は。

答 的確な配付を今後検討する。

大丸山森林公園頂上に 新たな展望台完成！

令和7年
第3回
定例会

9/3～11



観光振興につながることを期待される

日高山脈襟裳十勝国立公園の指定を受け、大丸山森林公園頂上に日高山脈の山並みの景観が一望できる新たな展望台が完成しました。

大丸山森林公園には、既に十勝港を望む方向に展望台は設置されていましたが、日高山脈を望む方向に新たな展望台と公衆トイレが設置されました。

新展望台にはインバウンドを見越して英語、韓国語、中国語（簡体字・繁体字）の4言語に対応している多言語翻訳プレートも設置されました。



多言語翻訳機能で外国人観光客にも対応

展望台の設置工事は、令和6年第3回定例会において補正予算が可決、その後、工期内の完成が難しいと判断され取りやめとなりましたが、令和7年第1回定例会で新年度予算が可決され、整備が進められました。

新展望台の設置事業に関しては、本年7月に産業常任委員会で所管事務調査を行っており、事業の背景や工事の概要などについて説明を受けました。

※調査の詳細は、15ページの産業常任委員会所管事務調査報告を参照してください。

その他決まったこと

条例の一部改正

◆**広尾町議会議員及び広尾町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正**

公費負担の対象としている選挙運動用ビラの作成に係る単価の限度額を引き上げる改正をしました。

教育委員の任命

教育委員会委員の任命に同意しました。

小柳かおりさん（新任）
（任期）令和7年12月1日から4年間

固定資産評価審査委員の選任

固定資産評価審査委員の任命に同意しました。

山川揚大さん（再任）
（任期）令和7年10月4日から3年間

指定金融機関

北海道銀行より広尾支店の移転に伴う指定金融機関の解除の申し入れがあり、承継する広尾町指定金融機関として日高信用金庫を指定しました。

※指定金融機関とは
地方公共団体が税金等公金の収納又は町民や業者に対する支払の事務を取り扱わせるため指定する金融機関のことです。
金融機関の指定には議会の議決を必要とします。

補正予算

海洋博物館・伝習館費

182万円

問 学芸員を地域おこし協力隊で募集すると町内や近隣町村の資格者が応募できないのでは。

答 広く全国から募集するため地域おこし協力隊制度を活用する。

令和7年度 補正予算の内訳

一般会計 ②	82億6979万円	1億7464万円	増
港湾管理特別会計 ①	1億627万円	137万円	増
国保事業勘定特別会計 ②	9億4731万円	1050万円	増
介護保険特別会計 ②	7億920万円	2723万円	増
介護サービス事業特別会計 ②	3億2790万円	5万円	増
後期高齢者医療特別会計 ①	1億3730万円	※増減なし	
病院事業債管理特別会計 ①	1億2206万円	122万円	増
水道事業会計 ②			
収益的収入	3億1008万円	250万円	増
収益的支出	3億2127万円	260万円	増
下水道事業会計 ②			
収益的収入	4億330万円	54万円	増
収益的支出	3億4473万円	45万円	増
資本的支出	2億5615万円	9万円	増

※会計名の後の丸数字は補正回数

(1万円未満切り捨て)

問

近隣町村から採用する可能性は。

答 今年度は地域おこし協力隊として募集をかけ、次年度以降は協議する。

問

地域おこし協力隊と会計年度任用職員のパートの2本立てでの募集は。

答 両方での募集についても検討して進めていく。



学芸員を募集して登録博物館に

討論

一般会計歳入歳出決算

反対 前崎 茂議員

米価格の値上がりなど、物価の高騰で町民生活が厳しさを増している中、ふるさと納税寄附金は、本町の子どもたちに係る事業に活用すべきと思慮する。また、政治家記念館を自治体が運営することは非適切で、見直しを図ることは急務と考え、本決算認定に反対する。

賛成 浜野 隆議員

町民が安心して暮らすための事業をはじめ、環境保全、地域経済の安定、産業団体への支援などにも配慮し、様々な工夫を凝らして事業を遂行されている。認定から40周年を迎えたサンタランドも事業の推進が図られていることから、本決算認定に賛成する。

国民健康保険事業勘定特別会計決算

反対 前崎 茂議員

国民健康保険税は、他の健康保険にはない平等割額や均等割額等で被保険者が増えるほど保険税が高くなる課税体系となっている。物価高が家計を直撃し、生活やなりわいに厳しさが増している中、被保険者の負担増は回避すべきと考え、本決算認定に反対する。

賛成 萬山 ちず子議員

国民健康保険加入者の医療の確保や健康増進に努めており、特定健診受診率も上昇している。被保険者の減少や高齢化が進む中、保険給付費は増えているが、国民健康保険税収納率向上に努め、適正な会計運営に努力されていることから、本決算認定に賛成する。

田中町長からの 行政報告

※内容は要約しています。

普通交付税の決定

令和7年度の普通交付税決定額は、36億603万6000円となり、前年度と比べて1億3833万6000円、4%の増となった。

工事請負契約の締結

防眩材改修工事（第4頭環第3岸壁）
契約額—3685万円

契約の相手方—有限会社田中建設（丸山通北7）

カムチャツカ半島付近の地震による津波への対応

令和7年7月30日に発生したカムチャツカ半島付近の大地震にて、津波警報が発令されたことから、避難所を4箇所開設した。十勝港は最大波0・7mを記録したが、公共施設、民間施設ともに津波による被害は

なかった。

簡易給水（ランベ地区）の水源

猛暑と雨不足によりランベ地区の水源が枯渇し、配水池の水に濁りが発生した。それに伴い、取水を一旦停止し、給水世帯へ事情説明を行い、飲料水等を配布したため、直接的な影響はなかった。

公用車のテレビ放送受信設備におけるNHK放送受信契約の未締結

全国での契約漏れ報道を受け調査をしたところ、本町の公用車4台がNHKと未契約であることが判明した。認識不足が原因であり、対応としてはNHK帯広放送局と協議のうえ、契約・支払いを適切に進める。

第5次広尾町行政改革の取組状況

計画期間中の全取組項目

の達成度は、推進済みまたは推進中のものが25項目（78%）、一部推進しているものが7項目（22%）、後期計画対象外のものが1項目となっている。

大丸山森林公園頂上展望台の完成

新たな展望台と公衆トイレの整備工事が8月29日に完成し、9月5日に供用開始となった。

山岸教育長からの

教育行政報告

※内容は要約しています。

シーサイドパークゴルフ場の閉鎖

近年の気象により芝の常態が悪化し、プレーに支障が生じるため、今シーズンは9月16日から施設を閉鎖し、芝の養生を実施するもの。

意見書2件を可決 国等へ提出

※内容は要約しています。

① OTC類似薬の保険適用除外の議論を慎重に進めることを求める意見書

提出者 前崎 茂議員

政府は、経済財政運営の指針「骨太の方針」で「OTC（Over The Counter）類似薬」の保険適用除外について議論を進めている。

OTC類似薬は、医師の処方箋がなくても購入できる医療用医薬品であり、保険適用除外となると、所得によって医療へのアクセスに格差が生ずる恐れがある。日本医師会でも、医療機関の受診控えによる健康被害などから、保険適用から外すことに反対している。

よって、患者の健康を守る視点からもOTC類似薬を保険適用除外の議論を慎重に進めることを強く要望する。

② 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

提出者 山谷 照夫議員

北海道は豊かな自然や再生可能エネルギー、農林水産物など多くの強みを有しており、将来にわたって持続可能な活力ある北海道の実現を目指している。

しかし、道路を取り巻く環境は、高規格道路におけるミッシングリンクや自然災害に伴う交通障害など、多くの課題を抱えている。

こうした課題を解消し、生産性向上や災害に強い地域づくりを進めるため、高規格道路から市町村道までの道路整備等が必要である。よって、国土強靱化の取組をより一層推進するため、特段の措置を講ずるよう強く要望する。

提出先
衆議院議長①②
参議院議長①②
内閣総理大臣①②
財務大臣①②
厚生労働大臣①
総務大臣②
国土交通大臣②
国土強靱化担当大臣②

令和7年 第3回定例会 議案審議結果

●賛否のあった議案 (議案名は一部省略しています)

賛：賛成 否：反対 欠：欠席

議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	議決結果
	齋藤弘樹	尾矢利昭	大庭克彦	雄谷幸裕	山岸謙一	松田健司	志村國昭	浜野隆	萬亀山ちづ子	前崎茂	渡辺富久馬	山谷照夫	堀田成郎	
令和6年度一般会計決算認定	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	賛	賛	-	可決 (11-1)
令和6年度国保事業勘定特別会計決算認定	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	賛	賛	-	可決 (11-1)

※全会一致した議案の掲載は省略しています。

※堀田議員は議長のため、採決には加わりません。

議員の会議等出欠状況をお知らせします

(令和7年6月定例会終了後～令和7年9月定例会まで)

(1) 定例会・臨時会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退

開催日	開催会議名・主な内容	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	齋藤	尾矢	大庭	雄谷	山岸	松田	志村	浜野	萬亀山	前崎	渡辺	山谷	堀田
9/3	第3回定例会(条例改正など)		○	×	○	○	早	○	○	○	○	○	早	○	○
9/4	第4回定例会(一般質問)		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○
9/11	第4回定例会(決算認定・意見書など)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
開催日数計	3日	出席日数計	3	2	3	3	2	3	3	3	3	3	2	3	3

(2) 委員会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 -：所属外

開催日	開催会議名・主な内容	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	齋藤	尾矢	大庭	雄谷	山岸	松田	志村	浜野	萬亀山	前崎	渡辺	山谷	堀田
7/23	第3回産業常任委員会		○	○	○	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-
7/25	議員定数及び報酬等に関する調査特別委員会		○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○
8/6	議会広報編集会議		○	-	×	○	-	-	-	○	○	-	×	-	-
8/7	第3回総務常任委員会		-	-	-	○	○	○	○	○	-	-	-	早	-
8/12	第3回議会広報特別委員会		○	-	○	○	-	-	-	○	○	-	○	-	-
8/12	議会広報編集会議		○	-	○	○	-	-	-	○	○	-	○	-	-
8/28	第5回議会運営委員会		-	○	-	-	○	○	○	-	-	○	-	○	早
9/3	決算審査特別委員会(正副委員長互選)		○	×	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-
9/9	決算審査特別委員会		○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-
9/9	第6回議会運営委員会		-	○	-	-	○	○	○	-	-	○	-	○	○
9/10	決算審査特別委員会		○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-
9/11	議会広報編集会議		○	-	○	○	-	-	-	○	○	-	○	-	-

※※議長の委員会への出席

堀田議員は議長のため、各委員会に所属していませんが、いずれの委員会にも随時出席し、発言することができるため、出席した委員会は「○」と表しています。

※予算審査特別委員会、議員定数及び報酬等に関する調査特別委員会は議長、決算審査特別委員会は議長と議選監査委員を除く議員で構成されています。

(3) 議員協議会・研修・その他

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 -：該当外

開催日	開催会議名・主な内容	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	齋藤	尾矢	大庭	雄谷	山岸	松田	志村	浜野	萬亀山	前崎	渡辺	山谷	堀田
6/26	広尾町議会議員等研修会		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
7/8~9	全道議員研修会(札幌市)		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
7/23	第6回議員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7/23	議会モニター会議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8/4	南十勝議員研修会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9/3	第7回議員協議会		○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○
9/9	第8回議員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

次のページは「一般質問」

「キャンプ場・暑熱対策・エアコン助成・「北の流氷」中止」



一般質問

9月定例会では、3人の議員が一般質問を行いました。
※議会だよりでは、内容を要約して掲載しています。

町営キャンプ場の議論は 進んでいるのか



まつだけんじ 松田健司 議員

町長 実現に向け、引き続き検討していきたい

質問

令和5年度の本町の観光入込客数は26万9千人、そのうち宿泊客数は1400人に止まっており、滞在型観光への転換が喫緊の課題と考える。一方で、独自財源での新規投資は極めて制約がある状況の中、大規模なキャンプ場の整備は将来世帯への負担が避けられない。これを背景に、次の2点について町長の考えを伺う。

- 1、昨年6月に行ったキャンプ場についての一般質問以降、現在の庁舎内での議論の推移と現状について。
- 2、観光振興の方向性として通過型から滞在型観光への転換を図るため、まずはRVパークのような小規模・低コストの観光拠点整備から着手すべきでは。町長の答弁を求める。

答弁 田中町長

町営キャンプ場の整備について、必要性や規模、管理体制などの検討を行っている。しかし、本町の現状では大規模なキャンプ場の整備を直ちに進めることは厳しい状況であると総合的に判断しており、第6次広尾町まちづくり推進総合計画の後期見直しの中で内容を盛り込み、実現に向けて引き続き検討していく。

RVパーク等の整備については、滞在型観光の受皿として有効な選択肢になり得ると認識している。一方、設置に当たり、既存宿泊施設との調和等の課題があるため、総合的に踏まえた検討が必要である。

今後、多様な形態を視野に入れ、持続可能で地域にふさわしい観光拠点の在り方を引き続き検討していく。

RVパークとは

RV協会が満ち足りたRV基地を営むことを目指した、RV専用泊地や100V電源が利用できる安心・快適なRV泊地を提供する施設。

真夏の災害に備えた暑熱対策を

町長 熱中症対策推進本部会議で検討

質問 7月30日にカムチャツカ半島付近の海域で発生した地震に伴う津波により、本町でも警報と避難指示が出された。特に、音調津地域では想定以上の避難者が集まったことを鑑み「町として課題の検証を進め、今後の備えに取り入れる」との報道もあった。

答弁 田中町長

福祉避難所や民間事業者と協定を結んでいる一部施設はエアコンが整備されている。しかし、第一次避難所等に指定している施設でエアコンが整備されている箇所は少ないことから、現在、熱中症対策推進本部会議で検討を行っている。

エアコンが設置されるまでは大型扇風機を配置するなどして対応していきたい。

豊似・野塚地区の災害備蓄品については、目標数量を定め、食料や飲料水、防災資機材等の備蓄を進めている。豊似地区は小学校と農村環境改善センターに備蓄しているが、野塚地区は保管場所等の問題もあり、備蓄が進んでいないことから、保管場所等について町内会や施設管理者と協議を進めているところである。



前崎 茂 議員
まえざき じげる

高齢者のエアコン 購入に助成を

町長 引き続き管内の
状況を注視していく

以上の高齢者世帯に「高齢者熱中症対策エアコン購入補助事業」を実施しており、7万5000円を上限とし、助成をしている。

本町でも暑熱対策としてクーリングシエルトを実施しているが、日中だけの利用制限があり、高齢者世帯にエアコン購入及び設置費用に対し助成すべきではないか。

答弁 田中町長

熱中症対策として、本町でも熱中症対策推進本部を設置しており、民間事業所の協力ももらいながら、クーリングシエルトや涼みどころの設置を進めている。

質問 地球温暖化による影響で、猛暑などによる熱中症警戒アラートが各地で発出されている。熱中症に起因する死亡者数も、令和3年には755人、令和6年には2033人と増加傾向にある。加えて、65歳以上の死者数は8割を超えている。

十勝でも、上士幌町では65歳以上、士幌町では75歳

自宅へのエアコン設置は熱中症対策として有効な手段であると考え、財源の問題等あることから、公共施設へのエアコン設置を優先的に進めていきたいと考えている。エアコン設置経費助成については、引き続き十勝管内の状況を注視していく。

「北の流氷」中止に至る丁寧な説明を

町長 協賛での参画では合意に至らず

質問 映画「北の流氷」の映画製作について、平成28年に浦河町出身の田中光敏監督より、えりも町などを舞台とした映画製作構想の話があり、浦河町、様似町、えりも町、本町の4町で映画製作に協力していた。

本町が出資金や寄付金などで支出した合計額は3869万7000円となっている。

令和2年に説明があった内容だと、令和2年9月には脚本ができ、令和4年5月にはクランクイン、翌年6月に劇場公開の計画であったが、なぜ、足かけ9年以上を要してもクランクインに到達できなかったのか。また、クランクインの予定が、再三にわたって延期された理由についても伺う。

「馬橋の花嫁」について、ロケ地である幕別町や大樹町は一切の支出はしていないとのことであるが、「北の流氷」は4町の合計拠出金額が本年6月末で3億800万円をすでに支出しており、各町が責任を伴うとの説明も理解しがたい。町民に対し丁寧な説明が必要では。

答弁 田中町長

クランクインに到達しなかった理由として、当初令和2年に公開予定だったが、コロナウイルスの流行により資金集めができず、また制作に関わるスタッフや主演俳優のスケジュール確保が困難になったため、結果的に令和7年6月以降まで延期された。

4町に関わる立場を出資ではなく協賛にて参画することに合意し、製作プロダクションに報告したところ、このまま制作することは困難であると判断し、結果的にクランクインが中止となった。

また、「馬橋の花嫁」は監督自身が自主製作作品として制作費確保も自ら行っていたとのことであるが、一方「北の流氷」は4町から監督に依頼したものであり、製作費も4町が監督の求めに対し資金集めをしていることから、自治体の関わり方に違いがあるものである。



▶PR活動に使用されたのぼりやポスター等



おおばかつひこ
大庭克彦 議員

農業振興計画策定と支援の強化を

町長 今後も継続し、支援を進める

質問

本町の基幹産業である農業は、飼料を始めとするあらゆる生産資材価格が高騰し、非常に厳しい経営を強いられている。

また、農業経営者の高齢化や後継者不在、労働力不足と生乳生産抑制等によって打撃を受けた財務基盤を立て直しに加え、町内で蔓延しているヨーネ病対策など、次世代に引き継ぐ魅力ある農業を確立するために対処すべき課題が山積しており、農業者の将来に向けた不安が増大している。

このような状況を踏まえ、本町としては町内の農業者が安心して、将来に希望を持って意欲的に生産活動に取り組む、魅力ある産業として次世代につなげ、基幹産業としての農業を持続的に発展させていくことが重要である。そのためには、本町の農業振興に係る将来ビジョンを明確にし、今後の農業振興に向けて、より具体的な取組や支援内容を示した広尾町農業振興計画を策定し、計画的かつ継続的に支援を強化していく必要があると考えるが、次の点について町長の考えを伺う。

- 1、本町農業の現状に対する認識について。

- 2、現在見直しが進められている「広尾町まちづくり推進総合計画」における農業振興策と国・道及びJAひろおが策定する振興計画との整合性・関連性について。
- 3、新たな広尾町農業振興計画の策定と継続的な支援の強化について。



継続的な支援強化を

答弁 田中町長

農業の現状においては、生乳生産の減産や家畜販売価格の下落、原油価格や物価上昇による農畜産経営に必要な生産資材価格の高騰など、非常に厳しい経営が強いられていることを認識している。ヨーネ病により

感染した乳牛等が殺処分され、収入源である家畜を失うことの損失は莫大なものであり、また、発生農場の清浄化に向けての取組は長期化しており、畜舎等の消毒作業などに要する時間や労力の負担は極めて大きいものであると認識している。

本町の農家人口や農家戸数は年々減少傾向にあり、将来の担い手確保・育成は喫緊の課題である。農畜産経営を取り巻く様々な要因が悪循環をもたらしているものとも認識をしている。

現在見直し中の「広尾町まちづくり推進総合計画」については、本町の最上位計画に位置付けられる総合的な計画であり、農業の振興のために後期5年間で重点的に取り組むこととして、家畜伝染病対策や有害鳥獣対策、多様な新規就農を支援する体制の構築などを掲げて見直しを進めている。

令和7年3月に作成した「地域計画」や更新作業中の「農業振興地域整備計画」では、農業における将来や

地域ごとの課題解決、持続可能な農業の実現を目指しており、農地の集約化や担い手不足解消等を進める上で、国や道、農協が定める計画の指針と地域の計画を一体とすることで整合性・関連性が保たれるものと考えている。

広尾町農業振興計画の策定については、現時点ではかなり難しい状況であるが、農業の将来ビジョンなどを関係機関と共有し、様々な課題に取り組みながら、農業者が安心して将来につなげていけるよう、今後も継続して支援を進めていきたい。



ヨーネ病対策に取り組む (消毒液噴霧器)



10/4 議員カフェ開催

会場：ゆうゆうベーカリー
主催：広尾町議会議員会

「より開かれた議会」を目指す視点から、町民の皆様と議員が日常の様々なことや日々の困りごとなどの情報交換が気さくに出来る場として「議員カフェ」を開催しました。

ご来場いただいた皆様、ありがとうございます。

来場者アンケートでの ご意見・ご感想

※ご意見は一部抜粋しています

○もっとたくさんやってください。

○今後も続けた方がいい

○まだまだディスプレイを老若男女共々するように活気をもたらしたい。

○周知方法に一工夫いる。

会長よりコメント

町の現状や未来について「気軽に話のできる場所」として議員カフェが開催できたこと、多数の町民の皆様にご参加いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

令和7年度 補正予算の内訳

一般会計 ③	4380万円	↑
83億1359万円		
水道事業会計 ③		
収益的収入	795万円	↑
3億1804万円		
収益的支出	795万円	↑
3億2922万円		

※会計名の後の丸数字は補正回数
(1万円未満切り捨て)

補正予算では、商工協同組合が発行するサンタクラブカードの大幅刷新及び導入普及促進のための補助金の追加、令和7年9月20日から21日にかけて発生した大雨に伴う災害復旧費等が計上されました。

また、大雨に関する被害状況について報告がありました。

第5回 臨時会

10/10

令和7年第5回臨時会が10月10日に開かれ、補正予算2件の議案を審議。いずれも原案のとおり可決し、閉会しました。

ご意見箱から

ご意見箱等に投書頂いたご意見と議会からの回答です。

【ご意見】

議会を見て、議会の品位を損なわない程度の軽装が認められると思うが、サンダル、スリッパ等は違うと思う。

【回答】

本会議場の床は絨毯張りとなっており、施設維持のため土足での入室を制限しています。そのため、議員においては外靴から内履き履き替えています。

議会の品位を損なうことのない内履きを使用し、施設の保護に努めておりますので、ご理解いただければと思います。



10/30

議員力 アップへ

十勝町村議会議員研修会

十勝町村議会議員研修会が幕別町で開催され、議員12名が参加しました。

今年「宇宙産業が拓く十勝地域の可能性」と題し、スペースコタン株式会社代表取締役社長兼CEO小田切義憲氏を講師に研修が行われました。



次のページは「常任委員会」

考えた!



総務常任委員会

調査日：令和7年8月7日

出席委員：委員長 はまの 濱野 たかし 隆、副委員長 おおや 雄谷 ゆきひろ 幸裕
やまぎし 山岸 けんいち 謙一、まつだ 松田 けんじ 健司、しむら 志村 くにあき 國昭、やまや 山田 てるお 照夫

ひろお健康プラン21(第二次)

の現状 所管事務調査

計画期間は令和7年度から令和17年度までとし、計画の推進状況の中間評価を令和12年度に実施する予定。

- 4つの基本方針**
1. 生活習慣の改善・生活機能の維持
 2. 健康を支え、守るための社会環境の整備
 3. ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり
 4. 健康寿命の延伸

健康増進法に基づき、高齢化の進展や疾病構造の変化を踏まえ、生活習慣病の発症予防、重症化予防に取り組み、「健康寿命の延伸」を目指すとともに、全ての町民が健やかで心豊かに生活できる地域づくりに取り組めるよう、国や北海道の計画を踏まえ、4つの基本方針として本計画を策定した。

栄養・食生活

肥満は、がんや循環器疾患、糖尿病等の多くの生活習慣病と関連があり、適正な体重を維持するためには、体格や運動量に応じた適切な食事の質と量を選択することが大切である。

子どもから高齢者までライフステージに応じた各種食育教室、特定健診後の特定保健指導、高齢者の介護予防事業などを通じて食生活の支援を行っていく。

身体活動・運動

運動習慣の定着を目指し、日常生活における運動の普及啓発に取り組んでいく。

喫煙

本町の妊婦の喫煙率は4.5%と、全道の3.3%よりも高い割合である。

喫煙の胎児や母体への影響について健康教育とともに、妊産婦の喫煙に関する啓発の取組を継続していく。

がん

がん検診による早期発見・早期治療を進めるとともに、がんの危険因子である喫煙の減少や食生活改善のための保健指導・健康教育に取り組んでいく。

循環器疾患

内臓脂肪は心疾患や脳血管疾患などの要因となることから、LDLコレステロール等の減少を目標とし、疾病の早期発見、早期治療を進め、循環器疾患予防のための生活習慣の普及啓発や健康教育を実施していく。

こころの健康

「広尾町のちを支える自殺対策計画」を令和6年度に策定しており、こころの健康に関する相談窓口の充実やゲートキーパー養成講座の開催などを通じて、こころの健康の保持・増進を図っていく。

主な質疑

問 生活習慣病の改善の取組として、身体活動・運動をどう進めていくか。

答 身近な取組として「歩くこと」が重要であり、町の自然を楽しみながら体を動かすことを動機づけにして、ウォーキングイベント等を検討していく。

問 日常生活に落とし込んで運動はできないか。

答 「家事で体を使いまじょう」などの分かりやすいチラシやリーフレットを使って、家庭で自分のできることを提案していく。

問 こころの健康の取組として、こころの病気対策、アプローチから始める必要があるのではないか。

答 こころの病気は様々な要因が複雑に絡んでくるため、ゲートキーパー養成講座を実施し、十分な睡眠や休養が大事でもあるため、重要視して対策を進めていく。

見た！
聞いた！



ひろお 常任委員会

産業常任委員会

調査日：令和7年7月23日

出席委員：委員長 まえざき 前崎 しのぶ 茂、副委員長 まきやま 萬亀山ちず子
さいとう 斎藤 ひろき 弘樹、おや 尾矢 としあき 利昭、おおば 大庭 かつひこ 克彦、わたなべ 渡辺 ふくま 富久馬

大丸山展望台設置事業、 (株)広尾産業流通振興公社の経営状況

問

訪れる方は、新しい展望台を見た後、港が見

主な質疑

○工事の概要

工事名	契約額 (1万円以下切捨)
大丸山森林公園展望台設置工事	602万円
大丸山頂上公衆トイレ設置工事	300万円
大丸山頂上公衆トイレ解体工事	78万円
大丸山立木伐採工事	45万円

大丸山展望台設置事業

○事業の背景

令和6年6月25日に環境省より、国内で35か所目の国立公園として「日高山脈襟裳十勝国立公園」が指定された。このことにより、景観が一望できる新たな展望台と公衆トイレを大丸山森林公園に設置し、新たな魅力と観光資源の創出のため整備するもの。

える展望台も見られると考えられるが、階段部分が劣化し使用禁止になっている。

補修の予定はどうなっているか。また、新しい案内板

は多言語翻訳できるが、古い方の案内板の改修予定は。

何らかの補修は必要と考えている。多言語翻訳

についてはその他も含め一体的に検討したい。

案内板のQRコードは、専用アプリで読み込ま

ないと多言語の案内は見られないのか。

専用アプリをインストールしてもらい、読み込んでもらうこととなる

(株)広尾産業流通振興 公社の経営状況

○設立の背景

昭和58年10月3日に設立し、広尾町の産業の活性化促進のため、資源の高度利用と新製品の開発及び流通機能の拡充を図り、経済の発展と雇用の促進に寄与することを目的としている。

○出資団体と内訳

平成3年度には9団体あったが、現在は広尾町130株、広尾漁業協同組合70株、広尾町農業協同組合10株、北海道銀行10株の計220株となっている。

○経営状況

・売上高：令和2年度は7800万円台、令和3年度は6400万円台、令和4年度には4100万円台と右肩下がりとなっている。原因は、赤潮の影響による漁獲量の減少や魚価の上昇などであり、令和6年度では約1900万円台まで減少している。

主な質疑

問

本年度の販売収入予算額として5700万円を計上しているが、見込みがあるのか。

答

ふるさと納税推進係が取り扱う見込み額を100%達成できたら5700万円の売上額になる積算になっている。従って、ふるさと納税が伸びなければこの売り上げには達しない。

問

このまま赤字で推移すると存続自体が難しいのではないか。このままの状態でもやみくもに存続していくのは難しいと思うが。

答

今後、「道の駅」などの整備を検討する際に、運営母体としての可能性も想定されることから、経費の抜本的な見直しも含めて経営改善に取り組み、存続させていきたいと考えている。



展望台から望む日高山脈

議会活動日誌

令和7年9月～令和7年11月

【9月】

- 3日 第3回広尾町議会定例会（～11日）
第7回議員協議会
- 9日 第8回議員協議会
第6回議会運営委員会
- 18日 開町記念表彰式
- 19日 市街地区敬老会
- 26日 大樹町議会総務常任委員会行政視察 来町
大丸山日高山脈展望台お披露目会

【10月】

- 1日 広尾地域学高校生議会に係る高校訪問（1回目）
- 4日 議員カフェ
- 10日 第5回広尾町議会臨時会
- 20日 第9回議員協議会
広尾地域学高校生議会に係る高校訪問（2回目）
議会広報編集会議
- 25日 広尾サンタランドツリー点灯式
- 27日 沼田町議会産業福祉常任委員会行政視察 来町
- 28日 総務常任委員会行政視察（～29日・栗山町ほか）
- 30日 十勝町村議会議長会議員研修会（幕別町）
- 31日 高齢者スポーツ大会

【11月】

- 4日 道東4地区管内町村議会議長会連絡協議会（音更町）
議会広報編集会議
- 5日 産業常任委員会行政視察（～6日・小清水町ほか）
- 7日 第1回合同委員会（総務・産業）
- 11日 町村議会議長全国大会（～12日・東京都）

- 13日 第4回議会広報特別委員会
- 14日 第10回議員協議会
広尾町生涯学習まちづくりセミナー
- 19日 議会懇談会
- 21日 第11回議員協議会
- 25日 とちか広域消防事務組合議会定例会（帯広市）
十勝圏複合事務組合議会定例会（帯広市）
- 26日 第7回議会運営委員会
広尾高校国際交流派遣報告会
- 28日 広尾地域学高校生議会に係る高校訪問（3回目）

閉会中の所管事務調査

各常任委員会と議会運営委員会は、令和7年第4回定例会までの閉会中に、次の所管事務調査を実施します。

◇総務常任委員会

- ①移住・定住について

◇産業常任委員会

- ①公共複合施設における商業振興について
- ②ふるさと納税返礼品による産業振興について

◇合同委員会

- ①第6次広尾町まちづくり推進総合計画の後期見直しについて

◇議会運営委員会

- ①議会の運営に関する事項について
- ②議会の基本条例、会議規則等に関する事項について
- ③議長の諮問に関する事項について

ぎがイトピックス

9/26 大樹町議会総務常任委員会が来町

大樹町の総務常任委員会（寺嶋誠一委員長ほか5名）が、本町に設置されているバイオトイレを視察するため広尾町に来町し、本町では産業常任委員長、正副議長が対応しました。



10/27 沼田町議会産業福祉常任委員会が来町

沼田町の産業福祉常任委員会（伊藤淳委員長ほか6名）が、本町に新たに建設された特別養護老人ホームつつじ苑を視察するため広尾町に来町し、本町では総務常任委員長、議長が対応しました。

